

# 日本航空株式会社 2024年度第2四半期 決算 ご説明・解説



JAPAN AIRLINES

メジャーリーグベースボールの商標及び著作権は、メジャーリーグベースボールの許可に基づいて使用しています。詳しくはMLB.comを参照ください。



すべての夢に  
羽ばたく  
チャンス。

892,440km

大谷翔平選手をデザインした特別塗装機「DREAMSHO JET」が9月29日（日）より就航

高校野球 → メジャーリーグ現在 まで

2024年11月  
代表取締役副社長執行役員グループCFO 斎藤祐二



APEX  
WORLD CLASS



Best Wi-Fi in Eastern Asia  
2024APEX"



SKYTRAX  
2024年度  
World's Best  
Premium Economy Class



SKYTRAX  
World Airline Star Rating  
5-Star



SX銘柄2024



DX銘柄2024  
Digital Transformation



SPORTS  
YELL  
COMPANY  
2024

1. 2024年度 第2四半期 業績概要
2. 2024年度 通期連結業績予想
3. 直近の当社の取り組み

## ESG 社外評価



FTSE Blossom  
Japan Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2024 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数 (WIN)

Member of  
Dow Jones  
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA

Dow Jones Sustainability  
Asia Pacific Index2年連続選定



気候変動「A-」評価  
(2023年度)



当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの独占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

注.(1) 当資料における表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(2) Q2(7月-9月)の実績はQ2累計実績(4月-9月)からQ1実績(4月-6月)を差し引いて算出しております。

(3) LCC=Low Cost Carrier (4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

# JALグループ 2024年度上期 連結業績

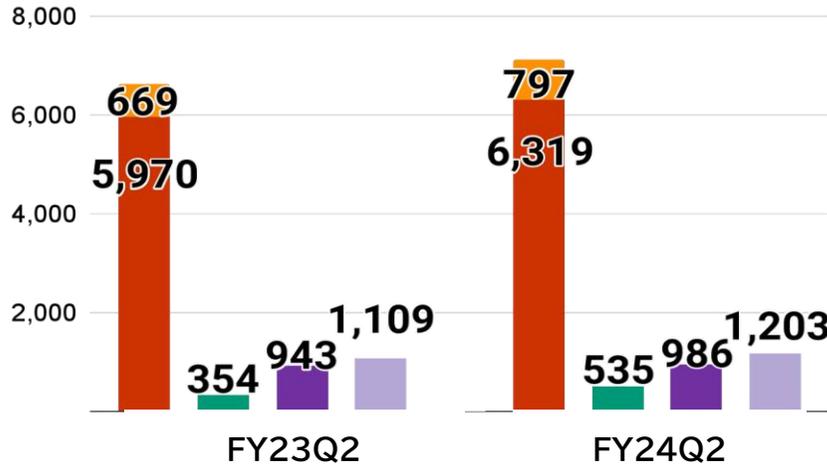
(単位：億円)	2023年度 上期	2024年度 上期	前年同期差
売上収益	8,209	9,018	+808
費用	7,366	8,243	+877
EBIT	912	856	▲ 55
EBIT=財務・法人所得税前損益(税引前損益から利息等の財務収支を除いたもの)			
純利益	616	498	▲ 117
純損益=親会社の所有者に帰属する当期利益			

# 2024年度上期 セグメント別実績

- ✓ FSCは国際旅客・貨物がけん引し、対前年で売上収益が伸長
- ✓ LCCはZIPAIRが引き続き好調、SPRING JAPANも中国需要回復により黒字化を達成し、EBITが伸長
- ✓ マイル/金融・コマー스는コマー스事業がけん引して対前年でEBITが伸長
- ✓ その他はQ2に一時的な評価損が発生するも、受託事業がけん引して実質的には対前年で増益

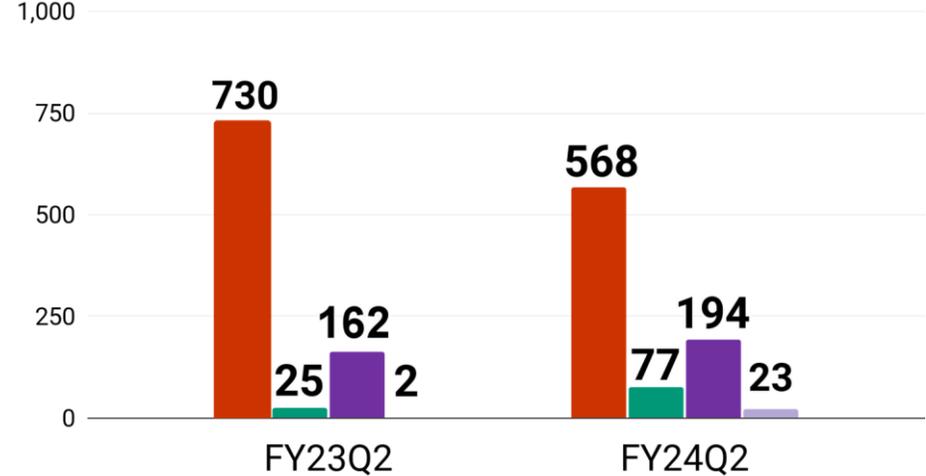
## セグメント別 売上収益

(億円) ■ FSC(貨物) ■ FSC(旅客) ■ LCC ■ マイル/金融・コマー스 ■ その他(旅行・受託等)



## セグメント別 EBIT

(億円) ■ FSC(フルサービスキャリア) ■ LCC ■ マイル/金融・コマー스 ■ その他(旅行・受託等)



FY24Q2単独	FSC (フルサービスキャリア)		LCC	マイル/金融・コマー스	その他 (旅行・受託等)
売上収益	3,361 (旅客)	409 (貨物)	288	525	656
前年同期差	+127	+83	+83	+21	+58
EBIT	489		55	105	▲14
前年同期差	+4		+15	+33	▲16

注. セグメント別実績における売上収益およびEBITはセグメント間連結消去前数値です。



1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2025年3月期 通期連結業績予想
3. 直近の当社の取り組み



# JALグループ 2024年度 業績予想・配当予想

(単位：億円)	2023年度 実績	2024年度 予想	増減額
売上収益	16,518	19,300	+2,781
費用	15,422	17,750	+2,327
EBIT	1,452	1,700	+247
純利益	955	1,000	+44

1株当たり 配当金額	75.0円 (中間 30.0円、期末 45.0円)	80.0円 (中間 40.0円、期末 40.0円)	+5.0円
---------------	------------------------------	------------------------------	-------

EBIT=財務・法人所得税前損益(税引前損益から利息等の財務収支を除いたもの)、純利益=親会社の所有者に帰属する当期利益



# 2024年度 セグメント別業績予想

※FY24通期予想は2024年5月2日発表 決算説明会資料より再掲

(単位:億円)	FY24			
	Q1単独	Q2単独	上期累計	通期予想
売上収益	4,240	4,777	9,018	19,300
フルサービスキャリア	3,346	3,770	7,116	15,030
国際旅客収入	1,661	1,745	3,406	7,100
国内旅客収入	1,247	1,557	2,805	5,980
貨物郵便収入	388	409	797	1,670
その他収入	49	57	107	280
LCC	247	288	535	1,150
マイル/金融・コマース	460	525	986	2,230
その他(旅行・受託等)	547	656	1,203	2,900
連結調整額	▲361	▲462	▲824	▲2,010
営業費用	4,061	4,181	8,243	17,750
燃油費	945	978	1,923	4,350
燃油費以外	3,116	3,202	6,319	13,400
その他収支	42	39	81	150
EBIT	221	635	856	1,700
フルサービスキャリア	79	489	568	1,100
LCC	22	55	77	130
マイル/金融・コマース	88	105	194	440
その他(旅行・受託等)	38	▲14	23	120
連結調整額	▲6	▲0	▲7	▲90
純利益	139	358	498	1,000

## 燃油・為替の市況変動によるQ3以降の利益影響 (ハッジ、燃油サーチャージ等込み)

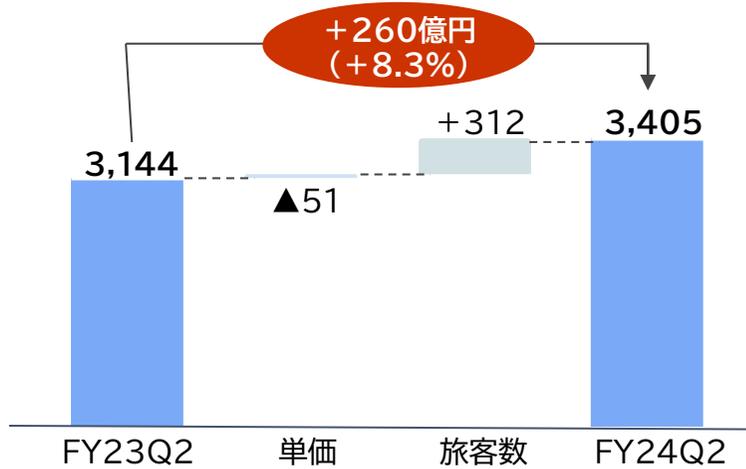
(億円)	燃油市況 (USD/bbl)	ドバイ 原油	60ドル	70ドル	80ドル	90ドル
		シンガポ ール・ ケロシン	80ドル	90ドル	100ドル	110ドル
為替 (円/USD)	135円		+120	+100	+70	+40
	140円		+110	+80	+60	+20
	145円		+90	+70	+40	予想前提 ±0
	150円		+100	+60	+30	▲10
	155円		+90	+50	+20	▲20

※本表は、燃油市況(シンガポール・ケロシン)及び為替の変動により、燃油サーチャージ収入及び燃油費が増減することで、当社の今年度10～3月の間の利益がどのように変動するかを示しております。  
 なお、2025年1月までの燃油サーチャージテーブルは確定しており、これを反映済みです。

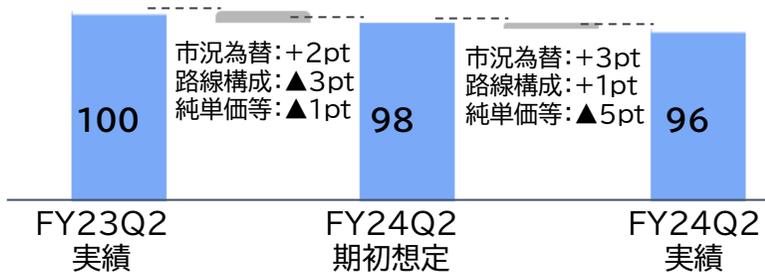
# 2024年度 業績詳細 国際旅客・国内旅客

- ✓ 国際旅客は、回復傾向にある日本発需要と旺盛なインバウンド需要を取り込み、旅客数が伸長
- ✓ 国内旅客は、低需要便を中心とした需要喚起策により、団体旅客需要は回復傾向

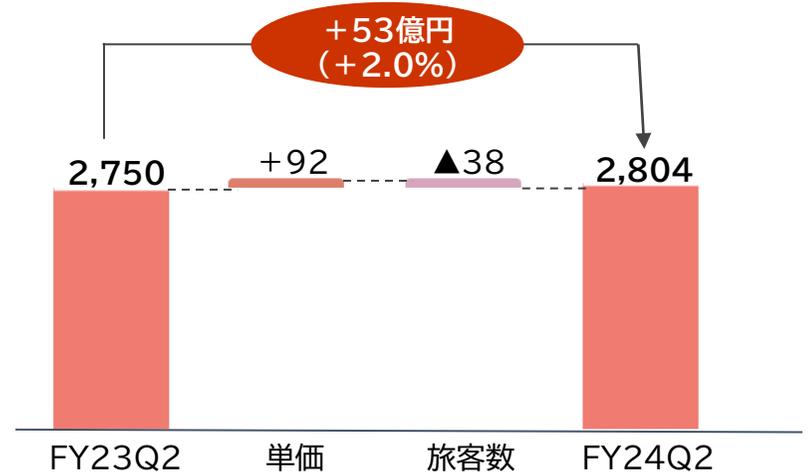
## 国際旅客収入の推移(億円)



### Q2単独実績単価変動 (FY23Q2実績=100)



## 国内旅客収入の推移(億円)



### Q2単独実績単価変動 (FY23Q2実績=100)





1. 2025年3月期 第2四半期 業績概要
2. 2025年3月期 通期連結業績予想
3. 直近の当社の取り組み

# 直近の当社の取り組み

## フルサービスキャリア

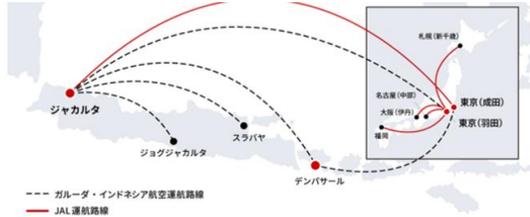


### 国際線の競争力強化に向けた主な取り組み

■10月24日より、米州に続き欧州線にも最新鋭機材・エアバスA350-1000就航  
羽田=ロンドン線(JL043/044)



■2025年4月より、ガルーダ・インドネシア航空との共同事業を開始予定



■10月1日より、無料Wifiサービスを開始  
ビジネス/ファーストクラスは時間無制限、エコノミー/プレミアムエコノミークラスは1時間まで利用無料



### SAFの取り組み

■法人へのオフセット手段「JAL Corporate SAF Program」  
法人のお客さまのScope3削減に貢献

## 貨物郵便

### 貨物専用機事業拡大成長に向けた取り組み

■国際貨物  
767貨物便の大連線増便を決定  
(10月27日より週2便体制)



■国内貨物  
A321貨物便が8月1日より羽田へ就航  
深夜～早朝にかけて高速鮮度輸送を実現



## LCC

### 拡大成長に向けた主な取り組み

■ZIPAIR  
3月4日よりヒューストンに就航。就航地点は10地点まで増加



■SPRING JAPAN  
上海(浦東)・北京・大連等大都市へ就航

